

岐阜県鉱工業指数(平成21年6月分)

生産指数 前月比7.6%の上昇

1 概況

平成21年6月の県内鉱工業の動向を季節調整済指数で見ると、輸送機械工業、精密機械工業等が低下したものの、化学工業、情報通信機械工業等が上昇したため、前月に比べ生産指数は7.6%増となり、現行基準(平成17年基準)の平成15年以降で見ると、最大の上昇率となった。また、出荷指数も5.4%増と上昇に転じ、在庫指数は1.0%減と前月に引き続き低下した。

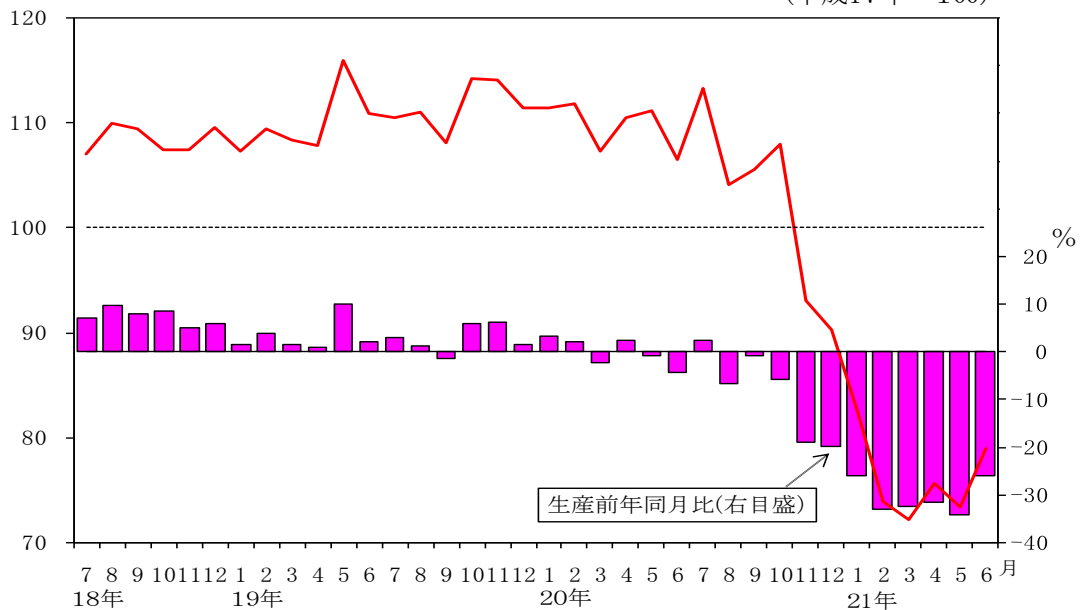
なお、原指数で前年同月比をみると、生産指数は25.9%減となり、11カ月連続で前年を下回った。

(平成17年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	
		前月比(%)		前年同月比(%)
生産	78.9	7.6	80.3	△25.9
出荷	76.1	5.4	77.8	△29.8
在庫	107.0	△1.0	107.2	△3.6

鉱工業指数(生産)推移

(平成17年=100)



注:指数値は季節調整済、前年同月比は原指数による

季節調整済指数・季節的、社会制度による1年を周期として繰り返される変動を取り除いて指数化したもの。
原指数・調査によって得られた数値をそのまま指数化したもの。

2 主要業種の動向

主要業種別に季節調整済指数を前月と比べると、金属製品工業の生産は、作業工具、橋りょう等が減少したものの、ボルト・ナット、アルミサッシ等が増加したため、8.2%増と上昇に転じた。また、出荷も6.9%増と上昇に転じ、在庫は4.3%減と4カ月ぶりに低下した。

機械工業の生産は、乗用車ボデー、印刷機械等が減少したものの、携帯電話、電子回路基板等が増加したため、6.7%増と上昇に転じた。また、出荷も5.9%増と上昇に転じ、在庫は2.1%減と3カ月連続で低下した。

窯業・土石製品工業の生産は、研削砥石、セメント等が減少したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、タイル（陶磁器製タイル）等が増加したため、8.3%増と9カ月ぶりに上昇した。また、出荷は2.0%増と上昇に転じ、在庫は0.9%減と4カ月連続で低下した。

化学工業の生産は、無水酢酸が減少したものの、医薬品、メラミン樹脂等が増加したため、15.4%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷も13.2%増と3カ月連続で上昇し、在庫は1.2%減と前月に引き続き低下した。

プラスチック製品工業の生産は、ホース（プラスチック製）、発泡プラスチック製品等が減少したものの、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品等が増加したため、4.7%増と3カ月連続で上昇した。また、出荷も5.5%増と3カ月連続で上昇し、在庫は4.0%減と前月に引き続き低下した。

主要業種別動向

(季節調整済、平成17年=100)

区 分	生 産			出 荷			在 庫		
	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)	指 数	前 月 比(%)	前年同月比(%)
金属製品工業	88.5	8.2	△ 20.3	88.1	6.9	△ 20.5	73.8	△ 4.3	△ 19.0
機械工業	66.5	6.7	△ 43.6	66.7	5.9	△ 44.3	128.5	△ 2.1	△ 4.3
一般機械工業	48.1	9.3	△ 57.1	51.4	5.5	△ 56.5	-	-	-
電子部品・デバイス工業	88.2	8.6	△ 30.9	89.4	8.6	△ 29.2	-	-	-
輸送機械工業	68.8	△ 6.5	△ 44.2	66.1	△ 4.1	△ 44.1	-	-	-
窯業・土石製品工業	66.6	8.3	△ 19.6	66.5	2.0	△ 18.8	89.6	△ 0.9	△ 24.1
化学工業	133.8	15.4	34.3	127.5	13.2	27.6	104.9	△ 1.2	3.6
プラスチック製品工業	93.7	4.7	△ 8.7	100.3	5.5	△ 8.0	81.4	△ 4.0	△ 14.5

前年同月比は原指数による

主要業種別鉱工業生産指数

(季節調整済、平成17年=100)

